

(様式第4号)

上田市行財政改革推進委員会 会議概要

1	審議会名	上田市行財政改革推進委員会(第1回総合支所部会)
2	日 時	平成20年10月20日(月) 午後2時から午後4時まで
3	会 場	上田市役所北庁舎 3階 第二会議室
4	出席者	三井部会長、鬼頭副部会長、小池会長、斉藤委員、櫻井委員、南雲委員、西沢委員
5	欠席者	宮沢委員
6	市側出席者	金子行政改革推進室長、神代行政管理課長、鎌原行政改革推進係長、平田主任
7	公開・非公開等の別	公開
8	傍聴者 0人	記者 0人
9	会議概要作成年月日	平成20年10月23日

協議事項等

1 開 会

2 議事

(1) 前回の会議録の確認について

(事務局) 前回の会議録について、訂正があれば事務局に申し出ていただきたい。訂正後、ホームページに掲載する。

(2) 行政管理課からのヒアリング

(部会長) 総合支所部会の審議に入る前に、本日は、行政管理課長に来ていただいているので、行政管理課の役割と、地域自治センターの組織のあり方について説明をお願いしたい。

(行政管理課長) 行政管理課は、平成19年4月1日に設置され、市役所の組織、人員体制について調整を行っている。

今回のテーマである地域自治センターには、大きく分けて 総合支所機能、 地域協議会、 まちづくり活動拠点の3つの機能がある。

地域自治センターの主な業務は、住民に身近な業務を行うこととしているが、現在、地域自治センターが抱える課題として、

地域の事業に関する政策立案機能の強化が求められていること

合併前に比べて、事業などの意思決定に時間がかかるようになったこと

本庁の部長と地域自治センター長の役割(権限)が不明確であること、が挙げられる。

今後は、事務事業の見直しを随時行い、事業の選択と集中及び効率化を推進し、民間活力の導入を積極的に進め、組織のスリム化を図っていく。その方法としては、

地元から要望の多い、商工、観光、農政、土木部門について、地域自治センターでの政策立案から事業実施まで対応できる組織づくり。

地域自治センター内の窓口に関する業務を集約し、ワンストップサービス化を図り、住民の利便性を向上させるための組織づくり。

指揮命令系統をはっきりさせ、安定的に事務事業を行えるよう、系統的な組織づくり。を考えている。

(3) 総合支所機能・業務等の課題審議

(部会長) この総合支所部会で検討すべきポイントを整理したい。

1つ目は、地域自治センターに求められる機能、2つ目は、機能に見合った組織編制、

3つ目は、庁舎の空きスペースの利活用についてであるので、これに沿って検討を進めていきたい。これら3つのポイントについて、このテーマを選んだ意図を事務局に伺いたい。

(事務局) これらのテーマは、上田市行財政改革大綱集中改革プラン並びに合併協定書において、事務事業が統一的・安定的に執行できる機構・組織とするため、常にその機構・組織及び運営を見直すこととされているため、それに則った形で選ばせていただいた。

(委員) 今回の地域自治センターの見直しには、旧上田市内の3センター(塩田、川西、豊殿)も含まれるのか。

(事務局) 今回は、丸子、真田、武石の3つの地域自治センターについてお願いしたい。

(部会長) 合併協定書にある、総合調整部門とは、現在の組織で言うところになるのか。

(事務局) 現在、部門ごとの課題等を調整するために、本庁の各部局に調整担当係長を配置し、各地域自治センターとの連携を図っている。また、それとは別に、組織など体制的な問題については行政管理課が調整を行っている。

(委員) 総合調整部門が機能していないから、様々な問題が発生しているのではないかと。この点も含めて検討を行いたい。

(委員) 合併により、混乱が生じている部分も確かにあると思うので、一つずつ解決していけばよいと思う。

(部会長) 次に、上田、丸子、真田、武石地域間の職員の交流状況を事務局から説明願いたい。

(事務局) 合併時、他の地域に配属された職員は118人。平成20年4月1日現在では363人であり、毎年増加している。

(委員) できれば、階級ごとの資料が欲しい。部課長級が交流しないと何も変わらない。

(事務局) 次回資料を用意する。現在、部長級の交流はない。課長級もわずか。

(委員) 課題というとネガティブなものばかりになる。逆に、「ここを改善したらこうなる」という観点が必要。実際に、合併してよかったという声もある。

(委員) 各部局の調整担当者が一堂に会して調整会議などを開催しているのか。

(事務局) 部局間での調整会議は行っていないが、部門ごとに、本庁と各地域自治センターで調整を行っている。また、予算の調整などは調整担当係長が中心になって行っている。

(部会長) 次回以降の会議に向けて、事務局から現状の課題認識とその解決策を出してもらい、部会として意見を出してはどうか。

(委員) 12月までに結論を出すには時間に限りがあるため、事務局で方向性の(案)を示してもらい、意見を述べるようにしたほうが良いと思う。

(委員) 課題ばかりを出させてもあまり効果はないと思う。ヒアリングの中で、行政管理課長が来年の組織改正に向けて3つの方向性を述べているので、部会としては、その方向性について意見を述べるほうが良いと思う。

(委員) 道水路の整備など、全市的に整備基準などを統一したほうが良いものなども検討したい。

(委員) 色々と検討したいことはあると思うが、時間の制約がある中で、第1段階として行政管理課長から示された組織について議論し、その他は今後の検討課題として提起すればよいのではないかと。

(4) 次回以降の予定

(部会長) 事務局から、行政管理課と調整して今後の方向性を示してもらい、それについて委員の意見をいただくということでよいかと。〈了承〉

3 閉会

次回の日程について

・11月4日(火) 14時から 丸子地域自治センター 第一会議室

* 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください。

* 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。